

令和2年千代田区議会第4回定例会

公明党議員団ニュース

新年あけましておめでとうございます！

昨年中は皆様には大変お世話なり、ありがとうございました。

本年も定例会ごと議員団ニュースを発行し議会報告を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍から暮らしを守るため
居住支援のあり方見直しを！11/11 本会議 代表質問
米田かずや

問 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、家賃や住宅ローンの支払いに悩む人が急増しており、暮らしを守るため居住支援の強化は喫緊

の課題である。そこで、①居住支援のあり方を抜本的に見直してはどうか。②住居確保給付金の支給期間終了後も経済的自立の支援等、本人や家族の状況やニーズに応じたきめ細かな支援をすべき。③国の家賃低廉化制度(入居者負担軽減等)による支援で、自立を促していく仕組みに取り組むべき。所見は。

答 〈区長、保健福祉部長答弁・抜粋〉

①コロナ禍への対応を機に、居住支援のあり方を見直す。ハードとしての住宅の確保とソフトとしての生活支援の両面からの支援が重要。ニーズ調査を実施し関係部門が居住支援を行う法人・育成を検討する方向で進める。②相談員を増員し、相談者の就労に向けてのプラン作成や家計改善の支援等、就職し生活が安定するよう様々な支援を継続していく。③国の基本方針等を踏まえた上で、他自治体の取り組みも参考にして制度導入を検討していく。



録画映像

ケアラー支援の制度・仕組みの
構築と法的基盤の整備を！11/11 本会議 一般質問
大串ひろやす

問 介護を理由とする痛ましい事件が後を絶たない。介護するケアラーへの支援が必要であり、特にうつなど心が不調であるケアラーを早期に発見し必要

な支援につなげることが重要だ。社会から孤立することなく本人が尊厳を保ちながら介護を行うことができるようすべきだ。そのためにはケアラー支援の制度・仕組みの構築、そして法的基盤の整備が必要だ。そこで、①ケアラーの権利を謳いその権利擁護を定める(仮称)千代田区ケアラー支援条例の制定を提案する。②現在策定中の第8期介護保険事業計画においてケアラー支援を大きな柱の一つとして掲げ、目指すべき方向性を示した上で各事業を設けてはどうか。所見は。

答 〈保健福祉部長答弁・抜粋〉

①介護者支援の条例については行政、区民、事業者、地域が一体となって高齢者の生活を支える地域共生社会の実現に向けた取組へと転換していくためにも必要、今後検討していく。②策定中の計画にケアラー支援という言葉の表記はないが、引き続き家族介護の負担感の軽減に努めていく。



録画映像

◆ 他の質問項目は

問 行政手続きの押印廃止について！

問 感染防止に万全を期し成人式の開催を！

◆ 他の質問項目は

問 千代田区版ケアラー手帳の作成と配布を！

答 現在チームケアファイルを配布している。今後、ケアラー支援に資する情報の充実も図っていく。

問 厚労省作成のケアラー支援マニュアルの配布を！